



【一】 挨拶 【二】



押上一丁目仲町会  
町会長 高橋邦夫

初夏の候、梅雨空に水辺へ行くアヤマや小高い丘にはアジサイがともきれいに咲いているこの頃ですが、町会の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さる五月十五日に開催された当町会の総会も皆様のご協力のもと無事に終了いたしました。私も引き続き会長の任務を務めることとなりました。また新しく副会長として消防団で活躍中の大木茂さんが就任されました。なお、各事業部長、各地区部長も別表の通り変更がありました。新役員の皆様には新体制のもと、新たな町作りにご協力をお願いいたします。

さて、朗報として、このたび、仲町会員安藤勝康さんの奥様、安藤美智子さんに国から栄えある「藍綬褒章」が授与された事を皆様にご報告をいたします。仲町会の皆様一同にかわり心からお喜び申し上げます。

このところ新タワーの建設工事がかなりのピッチで進んでいますが、工事関係者の通勤のための車で当地区の駐車場が混雑しており、またタワー工事の見学に来たマイクロバスとの接触事故などが発生しており、地元の皆様にはくれぐれも交通事故などに遭わぬようご注意ください。

警察からは「ひったくり」の事件が多数発生しているので十分にご注意くださいとのこと。これからは厚く厳しくなって参りますが、健康に留意され毎日をお過ごし下さい。

押上一丁目仲町会広報部

編集責任者 山本 勝信

第四十一号

平成二十一年七月一日

平成二十一年度役員名一覽

副 部 長	荒 井 金 次
慶 弔 部 長	沖 山 泰 則
副 部 長	並 木 行 雄
	大 木 茂

  

地 区 氏 名	
第一地区部長	大 木 茂
第二地区部長	田 中 哲 夫
第三地区部長	小 杉 誠 一
第四地区部長	大 島 智 明
第五地区部長	大 泉 宏 一
第六地区部長	大 橋 由 明
第七地区部長	櫻 井 清 泉
第八地区部長	沖 山 泰 則
第九地区部長	細 川 勝 也
第十地区部長	来 栖 修 二
第十一地区部長	横 田 恒 男
第十二地区部長	峯 岸 壮 吉
第十三地区部長	中 村 久 美 子
第十四地区部長	東 海 幸 雄
第十五地区部長	青 木 弘

役 職 名 氏 名	
総 務 部 長	大 橋 由 明
副 部 長	奥 山 達 夫
地 域 安 全 部 長	高 野 裕
副 部 長	小 宮 善 雄
防 火 防 災 部 長	深 田 和 宥
副 部 長	後 藤 幹 雄
交 通 部 長	峯 岸 壮 吉
副 部 長	大 泉 宏 一
	広 畑 繁
福 利 厚 生 部 長	井 上 次 男
副 部 長	大 橋 祥 子
青 少 年 育 成 部 長	沖 山 泰 則
副 部 長	並 木 行 雄
広 報 部 長	山 本 勝 信
副 部 長	奥 山 達 夫
	櫻 井 清 泉
環 境 衛 生 部 長	並 木 行 雄
副 部 長	小 杉 誠 一
会 館 管 理 部 長	櫻 井 清 泉

役 職 名 氏 名	
町 会 長	高 橋 邦 夫
副 会 長	沖 山 泰 則
	並 木 行 雄
	大 木 茂
会 計	荒 井 金 次
	五 味 健
会 計 監 査	深 田 和 宥
	廣 畑 繁
顧 問	多 賀 和 弘
	松 倉 喜 富
常 任 相 談 役	細 川 勝 也
相 談 役	北 沢 辰 男
	多 賀 左 知 子
責 任 役 員	多 賀 和 弘
氏 子 総 代	高 橋 邦 夫
宮 総 代	細 川 勝 也
民 生 委 員	沖 山 泰 則
O S T 会 長	多 賀 和 弘
婦 人 会 会 長	大 橋 祥 子
子 供 会 会 長	古 山 統 子

【一】 総 務 部

昨年度に引き続き総務部の責任者になりました大橋由明(第六部)です。前年も大した任務もしないで過

ごしてしまいました。が、これで良いのかどうか、反省しております。今年度からは、副会長がおひとり交代されて、新しい息吹を感じられるように期待いたしております。町会事務関係で、印章がなかったため新規制作に取り込みます。また、コピー機もかなり年代物になり、修理代の方が高価なため新規にレンタルで最新の導入を計画しております。それと会館二階に電気冷蔵庫を設置することと、エアコンの交換も考慮しておりますが、町会会計や関係部長との調整がありますので、いざれ近いうちに実施したいと考えております。まだまだ問題山積で一番肝心な町会会館の建設準備の委員会等の立ち上げ業務も視野に入れて、この一年〜二年で目標達成と行きたいものです。それらの計画も町会皆様のご支援とご協力があれば実現いたしません。是非とも、町会役員をはじめ町会員の皆様の深いご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



【一】 婦 人 会

婦人会の行事に対し、日頃よりご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。今年度も六月二十一日(日)日帰りバスツアー旅行にいらっしゃいました。場所は、甲州で新緑の昇

仙峡、アジサイの咲く放光寺、佐藤錦のサクランボ狩りの実り多いコースでした。その他、日本酒の試飲、ワインの試飲等で盛り沢山の一日でした。昼食もサザエの煮貝ご飯と名物ほうとうです。サクランボも甘くて美味しかったです。お腹も心も幸せになった私たちは、また、一年間、母として妻として頑張ります。また、毎月の廃品回収にご協力頂き有難うございます。また、婦人会は、現在四十名で活動しておりますが、新入会を希望される方は、いつでもお待ちしておりますので、お近くの役員や会員に気軽にお声をお掛け下さい。宜しくお願い申し上げます。

### 【秩父札所めぐり3】

石田輝雄

西武池袋駅へ、特急「レッドアロー号」へ乗車。窓外の景色もすっかり青葉になり、みずみずしい感じ。時折ハナミズキの白とピンクの花が、加えて八重桜が枝もたわわ、黄色のレンギョウの花が目に入る。鉄路の際には大根の紫の花。西武秩父駅下車。駅前から西武バスに乗車、十時十分。今日は先ず秩父神社前で下車し、秩父神社へお参りをする。今回は家内と話し合いコースも考えてきたので、先ず少林寺へ向かう。神社前に消防署。その先を左折し秩父鉄道の踏切を渡ると白い漆喰の塗りの建物、十五番少林寺だ。十時十五分着。秩父大火（明治十一年三月二十一日）の経緯からこの様な防火構造となった由（耐火構造の白漆喰塗りの本堂は洋風の手法で白亜の殿堂。秩父札所唯一のもの）寺の佇まいとしては今一の感じであり少々残念。其の昔この寺は母栗山蔵福寺と呼ばれ秩父神社の境内に在ったが明治の排仏毀釈で廃寺となり其の後市内にあった五葉山少林寺と合併のかたちをとって現在の地に移されて母栗山少林寺となった。御本尊は十一面観世音菩薩（臨済宗）。少林寺の辺りは市街地だ。国道二九九号線へ出る。何と交通量が多い、特にダンプカーの往来が怖いほどだ。道を飯能方面にとる。秩父セメント工場が左手に、やがて其の左上上に本堂が見えてきた。十一番札所常楽寺の石柱。坂道の途中で落葉を掃いている御婦人と挨拶を交わす。坂を登り切ったら右手に四軒四方の本堂。十一時十五分着。昔は仁王門や観音堂もあったとの事だが、明治十一年三月二十一日の秩父大火で焼失してしまい明治三十年に再建されたのが現在の本堂との事。

然し、掃除等も行き届いており何とも気持ちが良い。本堂の右手が納経所で住職が朱印帳に記帳して下さった良い人柄の方。之の方の奥様が先の御夫人だった。気の安まるお寺さんだ。開基は門海上人と言われている（曹洞宗）南石山常楽寺。御本尊は十一面観世音菩薩。常楽寺の坂を下り左へ。又国道二九九号線を歩く。坂道を上り切った所が坂氷と言う地名。そこから国道を左折して進む。国道を離れると如何にも田舎と言った静かさになる。しばらく進むと右下に彫刻美術館の建物が見えてきた。道の右側に石柱。十番寺大慈寺と刻まれてある。昔は人家も無く巡礼に来てこの辺りで歩けなくなり命を落とした巡礼や旅人も多かった、とか。然し今は返って交通事故が心配されているとの事。十一番寺から三十分も歩いた。本堂に上る石段の左側に延命地藏さん。石段を登り仁王門を潜る。此処の本堂は土間のある観音堂で秩父の霊場には此の様にワラジ履までもお参り出来る様に「八番寺、二十番寺、二十三番寺等」そして生活の中にいつも観音様があり観音信仰との結びつきが如何に深かったかを物語っている。開祖は東雄禪師（曹洞宗）万松山大慈寺。御本尊は聖観世音菩薩。石段を下り左を見たら大きな鯉のぼりが数匹勢い良く大空を泳いでいた。薫風の五月近しと言う事か。此の辺りの家庭の一隅とか軒下とかに野菜や豆タクアン等が置いてあり無論無人の店であり。百円〜二百円の値札がつけてあった。国道を少し逸れるだけで誠に静かになるものだ。田舎道を歩いていると言う感じだ。今来た道をUターンする。坂氷迄戻り国道に出る。信号を渡り十一番寺の方へ進む。左上方が羊山公園。そして左側に成田山。国道から左折する。西武鉄道のガードを潜る道路の左端に十二番札所、野阪寺の標識。左の

小道に入る。十番寺から約四十分歩いた。十二時二十五分。五十メートル程歩くと楼門造りの山門に入る。山門を潜るときれいな芝生の庭園が広く美しい。本堂は誠に立派。丁度バスが着き、二十人近くの人達が参拝に見えた。本堂は明治末年の火災で焼失しそれ以後に再建されたものとの事。境内は広く山門の下にも自由に休憩できる様に腰掛けられる様心配りがされてあった。一隅には大きなポットが置いてあり御自由にお飲み下さい、と記してあった。温かい麦茶。ほんとうに美味しかった。街中が今回のお参りの地区なので昼食も何処かへ入ってと考えてきたが休憩出来る様椅子等置いてある寺も多く、こんな事ならむすびでも作ってくるのだったと家内のボヤキ。山門の両袖に閻魔王の木像が飾られてあった。今迄お参りした寺では一番大きく立派な感じだ（臨済宗）仙道山野坂寺。御本尊は聖観世音菩薩。お参りを済ませ今来た道に戻り西武鉄道のガードを潜り左折する。しばらく歩くと立派な道路へ出た。国道一四〇号線だ。右折して進む。近代的な市街地と言う感じ。三十分余り歩いて左角にある「すかいらい」と看板の出ているファミリーレストランに入る。丁度十三時。昼食として。小瓶の白ワインをオーダーし、二人一寸喉しめし。昼食休憩で約四十分を費やした。さあもう少し巡ろう。店の角を左に曲がると直ぐ西武鉄道秩父駅。これから十三番寺へ行こう。駅の仲見世を通り道路へ出る。秩父鉄道の踏切を渡ると右側が駅（御花畑）少し進むと秩父十三番補陀所の石標十三時五十分着。小さな山門を潜る。秩父大火で焼失後明治三十四年再建されたのが現在の本堂。三間四面の小さな建物だ。御本尊は聖観世音で行基菩薩が刻んだものと伝えられている。境内に石造りの一切経蔵があり輪堂と言う

（曹洞宗）旗下山慈眼寺。慈眼寺を出て市街地のバス道路へ出る。

次回に続く

### 【O S T】

OSTの皆様お変わりありませんか、今年の梅雨は不順で雷雨だった、暑い日差しだったりと身体が疲れる許りです。健康には御留意下さい。話は変わりますが、お目出度い話です。OST副会長の安藤さんの奥様が藍綬褒章を頂きました。ご夫婦で宮中に参内をして天皇陛下から表彰されたそうで本当にお目出度い事で奥様の今迄の御努力の賜物とお喜び申し上げます。さて五月二十日は総会で二十一名参加で無事終わりました。大増のお弁当も食べて二時から誕生会を引きついで皆でお喋りしたり、おやつを食べたりして終わりに皆で歌を歌って一日楽しく過ごしました。六月十六日は五地区親善交流演芸大会なので前から踊りを踊る人、歌を歌う人が練習をして当日は浴衣を着て踊って歌って見に来て下さった方達から好評でした。午後はドレスで「北上夜曲」を歌いました。皆さん歌う人も聞いて下さる方も楽しく満足したと思います。今月七月二十六日が誕生会です。どうぞ、皆さん誘い合っでご出席下さい。追伸ですが、社会奉仕活動のぞうきんタオルの供出がごさいます。その点宜しくお願ひ申し上げます。

### 【しらとり子供会】

今年も早いもので紫陽花がきれいに咲いて私達の眼を楽しませてくれる季節となりました。思い返せば桜咲く春、新一年生の入会はなく、今年度は六年生二人を筆頭に男の子一

人あとは女の子ばかりの計五人という小さな子供会の一年が始まりました。全五世帯という事は、親も計五人です。毎朝の旗当番のローテーションは大規模な子供会からは想像もできないペースですが、お互いに助け合い頑張っています。暑い夏が始まればラジオ体操、夏休みが終われば秋のお祭り、そして十一月末には小学校でのバザーも予定しておりますので、子供会の垣根なく皆様との関わりを楽しみたいと思っております。私自身至らぬ点多々あるかとは存じますが、ご指導の程よろしくお願ひ致します。



京成橋から見たタワー

### 【今後の予定】

平成二十一年七月二十五日（土）  
隅田川花火大会  
平成二十一年九月十一日（金）〜十三日（日）  
飛木稲荷祭礼

### 【編集後記】

熊谷さんが奔走してやっと誘致した東京スカイツリーの建設が本格的に進み、週毎に姿を変ええる。高さも伸びて、周辺の関連工事も広がりました。将来の押上を見据えた、何かを始める時期を迎えたように思う。六本木や丸の内の高層ビルを再開発とは、比較にならないインパクトを持っているのだから。